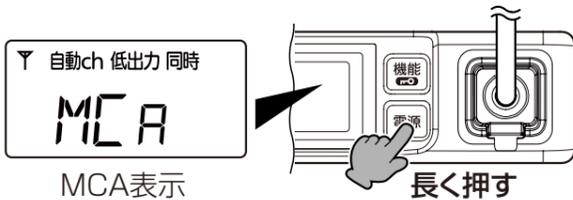
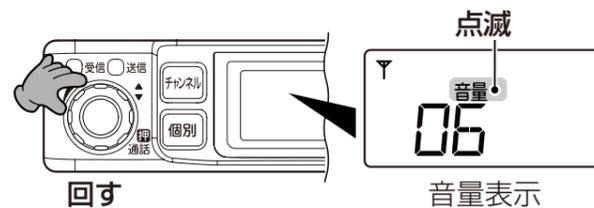


このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、同時通話の基本操作を説明しています。
本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を安全にご使用ください。

電源の入れかた



音量調整のしかた

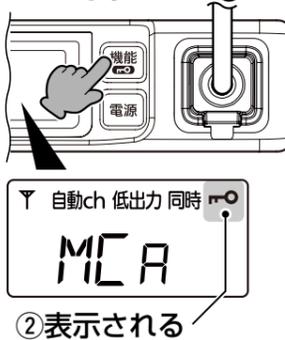


誤操作を防ぐときは(ロック機能)

右記の①、③の順番に操作します。

●[チャンネル]スイッチと[個別]スイッチがロックされます。
※解除するときは、同じ操作をします。

①長く押す
③ **MO**を表示後、はなす



各部の名称と機能

送信ランプ
赤色点灯：通話中

受信ランプ
緑色点灯：受信

ツマミ(回す)
◎音量の調整
◎チャンネル番号、個別番号、グループ番号の変更
[通話]スイッチ(押す)
通話の「開始」/「終了」

[個別]スイッチ
個別番号をツマミで変更する前に押します。

[機能/ MO]スイッチ
◎長く押すと、[チャンネル]スイッチ、[個別]スイッチ、[機能/ MO]スイッチ(ロック機能の解除操作を除く)がロックされる。
◎短く押すと、グループ番号をツマミで変更できる状態になります。(操作には、販売店で設定が必要。)

[チャンネル]スイッチ
チャンネル番号をツマミで変更する前に押します。

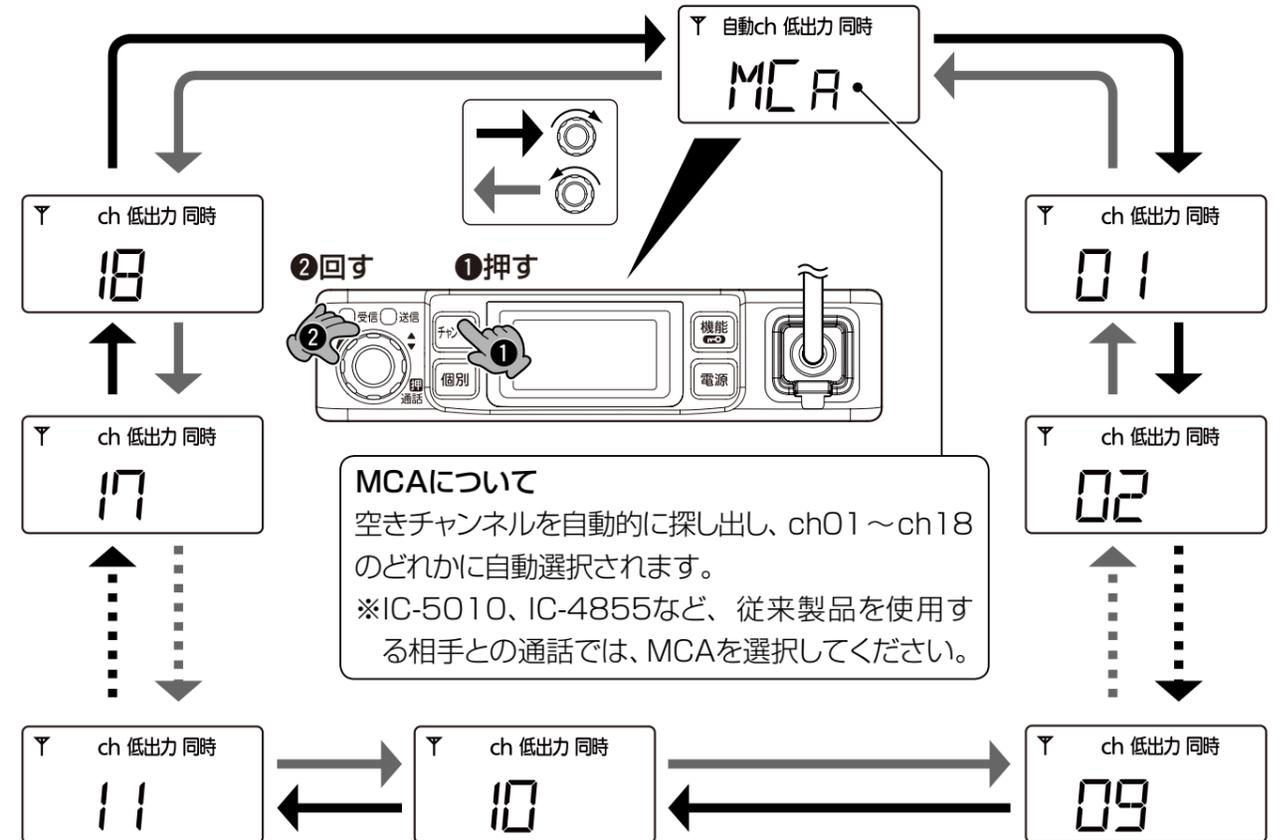
接続ケーブル*
マイクロホン(別売品)のケーブルです。同時通話では、AM-5、SM-28が使用できます。

[電源]スイッチ
電源の「入」/「切」

表示部
チャンネル番号やグループ番号を表示します。

アンテナ

チャンネルを替えるには



呼び出しのかた

[通話]スイッチを押す。
マイクロホン(例：AM-5)に向かって呼びかけます。
◎つながると、赤色に点灯します。
◎つながらないときは、消灯します。

赤色に点灯

※SM-28を接続時は、マイクロホンの[PTT]スイッチをロック状態にして、呼びかけます。

通話の切りかた

呼び出した局が、[通話]スイッチを押す。
通話が切れると、消灯します。

消灯

※SM-28を接続時は、マイクロホンの[PTT]スイッチのロックを解除すると、通話が切れます。

応答のかた

[通話]スイッチを押す。
マイクロホン(例：AM-5)に向かって話しかけます。
◎呼び出しを受ける(受信する)と、緑色に点灯します。
◎応答すると、赤色に点灯します。

受信：緑色に点灯 **点滅** **点灯**

呼び出しを受けたとき(例：ch02)

受信：緑色に点灯 **応答：赤色に点灯**

応答するとき(例：ch02)

※SM-28を接続時は、マイクロホンの[PTT]スイッチをロック状態にして、応答します。

★HM-204(別売品：防水スピーカーマイク)は、同時通話(動作モード：複信)で使用できません。

通話したい相手のグループ番号に変更するには

IC-4855など、すでに運用しているグループと通話する場合は、下記の順番(1.~4.)で①~⑥のスイッチとつまみを操作して、既設のグループと同じ自局グループ番号に変更してください。

※下記は、本製品の動作モードが複信(出荷時の設定)に設定されている場合の変更手順です。

操作について、詳しくは、弊社ホームページに掲載のIC-MS5010取扱説明書(P.6-1~P.6-2、P.6-5)をご覧ください。

詳細設定モードに移行したとき(例: Sc-Fd)

約1秒表示される

動作モード(複信)

[自局グループ番号]項目を選択(例: Gr-01)

同時設定

同時設定

Gr-01

Gr-02

自局グループ番号(例: Gr-01をGr-02に変更)

1. 同時に①を押しながら、②を押しつづける
※SE t2 が表示されたら、スイッチから手をはなします。

2. Gr-01の選択: ③、または④を繰り返し押す

3. Gr-02に変更: ツマミ(⑤)を回す

4. 確定して解除: ツマミ(⑥)を押す

リセットのしかた

- 無線機の電源を切ります。
 - [チャンネル]スイッチと[個別]スイッチを同時に押しながら、[電源]スイッチを押します。
 - 「REs」表示が点滅します。
 - [通話]スイッチ(つまみ)を押します。
 - 無線機本体から変更できる設定が初期設定値に戻り、「MCA」が表示されます。
- ※「-」が表示されているときは、リセットできません。

【ご注意】

リセット操作をする前に、お買い上げの販売店にご相談ください。
リセットすると、設定内容によっては、お使いの環境で通話できなくなることがあります。

①を同時に押しながら、②を長く押す

点滅

REs

自動ch 低出力 同時

MCA

③を押す

本製品の詳細な説明や設定方法について

疑似3者通話や秘話機能、自局グループ番号の変更など、詳細な設定をする場合は、弊社ホームページに掲載されているIC-MS5010取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

アイコム株式会社 <http://www.icom.co.jp/>

親機(呼び出し)側の周波数一覧表

チャンネル	受信周波数	送信周波数
ch01	440.0250	421.5750
ch02	440.0375	421.5875
ch03	440.0500	421.6000
ch04	440.0625	421.6125
ch05	440.0750	421.6250
ch06	440.0875	421.6375
ch07	440.1000	421.6500
ch08	440.1125	421.6625
ch09	440.1250	421.6750
ch10	440.1375	421.6875
ch11	440.1500	421.7000
ch12	440.1625	421.7125
ch13	440.1750	421.7250
ch14	440.1875	421.7375

チャンネル	受信周波数	送信周波数
ch15	440.2000	421.7500
ch16	440.2125	421.7625
ch17	440.2250	421.7750
ch18	440.2375	421.7875
ch19	440.2625	421.8125
ch20	440.2750	421.8250
ch21	440.2875	421.8375
ch22	440.3000	421.8500
ch23	440.3125	421.8625
ch24	440.3250	421.8750
ch25	440.3375	421.8875
ch26	440.3500	421.9000
ch27	440.3625	421.9125

(単位: MHz)

子機(待ち受け)側の周波数一覧表

チャンネル	受信周波数	送信周波数
ch01	421.5750	440.0250
ch02	421.5875	440.0375
ch03	421.6000	440.0500
ch04	421.6125	440.0625
ch05	421.6250	440.0750
ch06	421.6375	440.0875
ch07	421.6500	440.1000
ch08	421.6625	440.1125
ch09	421.6750	440.1250
ch10	421.6875	440.1375
ch11	421.7000	440.1500
ch12	421.7125	440.1625
ch13	421.7250	440.1750
ch14	421.7375	440.1875

チャンネル	受信周波数	送信周波数
ch15	421.7500	440.2000
ch16	421.7625	440.2125
ch17	421.7750	440.2250
ch18	421.7875	440.2375
ch19	421.8125	440.2625
ch20	421.8250	440.2750
ch21	421.8375	440.2875
ch22	421.8500	440.3000
ch23	421.8625	440.3125
ch24	421.8750	440.3250
ch25	421.8875	440.3375
ch26	421.9000	440.3500
ch27	421.9125	440.3625

(単位: MHz)